

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	標準Ⅱコース-A(夜コース)													
実施方法	① 通学 (昼間・ 夜間) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	4	8	2	1	8	—	1	9	1	0	0	2	—	1
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間				過 去 一 年 の 講 座 実 績	入講者数(実績なし)				修了者数(実績なし)				
	平成28年 6月 1日				平成34年 3月 31日まで									
訓練期間	2ヶ月				総訓練時間				72時間					

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> 専門職学位 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input checked="" type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 (データサイエンス) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	・統計学、データサイエンスの基本的な手法に関する知識 ・Python、SQL、Rを用いたデータ加工・データ分析の実施スキル ・ビジネスおよびデータを理解した上で、課題設定をする能力 当該技術・手法等を活用することで、あらゆる業種・職種において、業務上の課題の発見と解決をリードするとともに、後進育成への貢献が可能となる。

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
統計学	18時間	各科目自社オリジナルテキスト
データサイエンス	18時間	
ディープラーニング	9時間	
ロールプレイング(ファイナンス)	10時間	
ロールプレイング(マーケティング)	6時間	
ロールプレイング(ライフサイエンス)	6時間	
プレジョブ	5時間	
合計	72時間	

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	SE、プログラマーとして何かしらの機能を実装した経験(1年以上)
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	・高校卒業以上の数学力(文系理系は問わない) ・一般的なメディア(ニュース、新聞)などに掲載されるグラフを理解可能な知識 ・Python、SQL、Rを実装するための基本的な文法の知識及びデータ加工技術
③その他	

〔 特 記 事 項 〕

・修了6か月後を目安に、フォローアップアンケートを取得する。

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	0	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	0	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(③/②)	0.0	%
④ ③のうち合格者数	0	人	合格率(④/③)	0.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		0	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人		
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

令和元年新規指定のため実績なし

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	次項6(3)、(4)に記述。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法														
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	单元ごとにペーパーテストを行う。													
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各科目担当講師によるテストの成績で習熟度を確認。合格に満たない場合には、都度補講指導及び再試験を行う。													
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	実習課題提出による修了テストを行う。													
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ロールプレイ時のプレゼン資料、プレゼン内容、質疑応答への対応などを総合的に審査し決定。総合演習審査では、①課題を解決するために必要な分析を行っているか、②分析結果が他人に理解可能であるかを総合的に判断し、採点する。													
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法														
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	講師への質問は、都度、対面、電話、メールにて受け付ける。毎回授業を録画し、受講生がいつでも復習できるように環境を整える。													
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	弊社は人材紹介派遣業の免許も取得しており、卒業後、受講生の希望により就職のバックアップを行うことが可能。													
8. その他の事項														
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社データフォーシーズ (代表者名： 古本 孝)													
住所及び連絡先	東京都港区南麻布5丁目2番32号 興和広尾ビル TEL 03-5422-6620													
施設名称及び施設長名	株式会社データフォーシーズ (施設長： 和田 陽一郎)													
住所及び連絡先	東京都港区南麻布5丁目2番32号 興和広尾ビル7階 TEL 03-5422-6929													
苦情受付者	氏名 尾上 周作 所属 東京校 拠点管理部	事務担当者	氏名 和田 陽一郎 所属 東京校 拠点管理部											
連絡先	TEL 03-5422-6929	連絡先	TEL 03-5422-6929											
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 540,000 円													
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円											
	② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	540,000 円											
③ 両方可			<table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>第1期</td><td>540,000 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td>円</td></tr> </table> (うち、必須教材費 円)	第1期	540,000 円	第2期	円	第3期	円	第4期	円	第5期	円	第6期
第1期	540,000 円													
第2期	円													
第3期	円													
第4期	円													
第5期	円													
第6期	円													
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円													
	① 任意の教材費(税込額)		0 円											
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円											
	③ 施設維持費(税込額)		0 円											
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		0 円											
	3. 総額 (1+2) (税込額)		540,000 円											